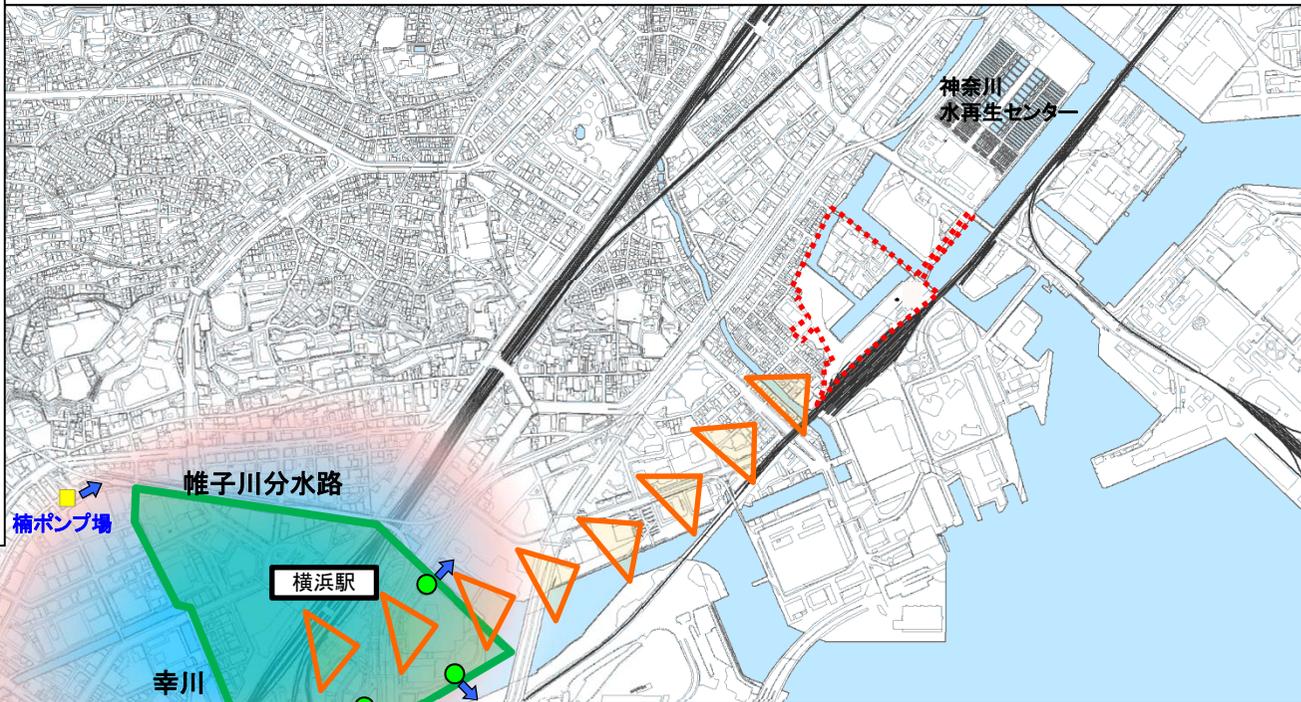
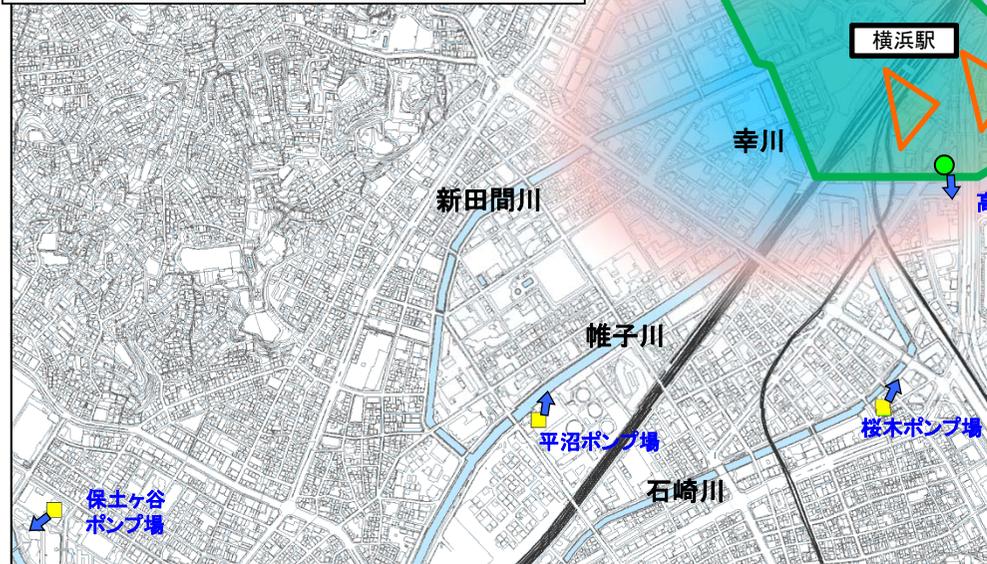


横浜駅周辺の下水道による浸水対策事業

30年に一度の降雨(約74mm/h)に対する下水道施設の整備

- 浸水被害対策区域
- 内水対策: 民間貯留との連携
(時間降雨量82mm 安全度:1/50)
- 内水対策: 公共下水道対応
(時間降雨量74mm 安全度:1/30)
- 東高島駅北地区土地区画
整理事業想定区域
- 雨水排水先
- 既設ポンプ場
- 既設小規模ポンプ場
- ポンプ排水



横浜駅周辺の下水道による浸水対策事業

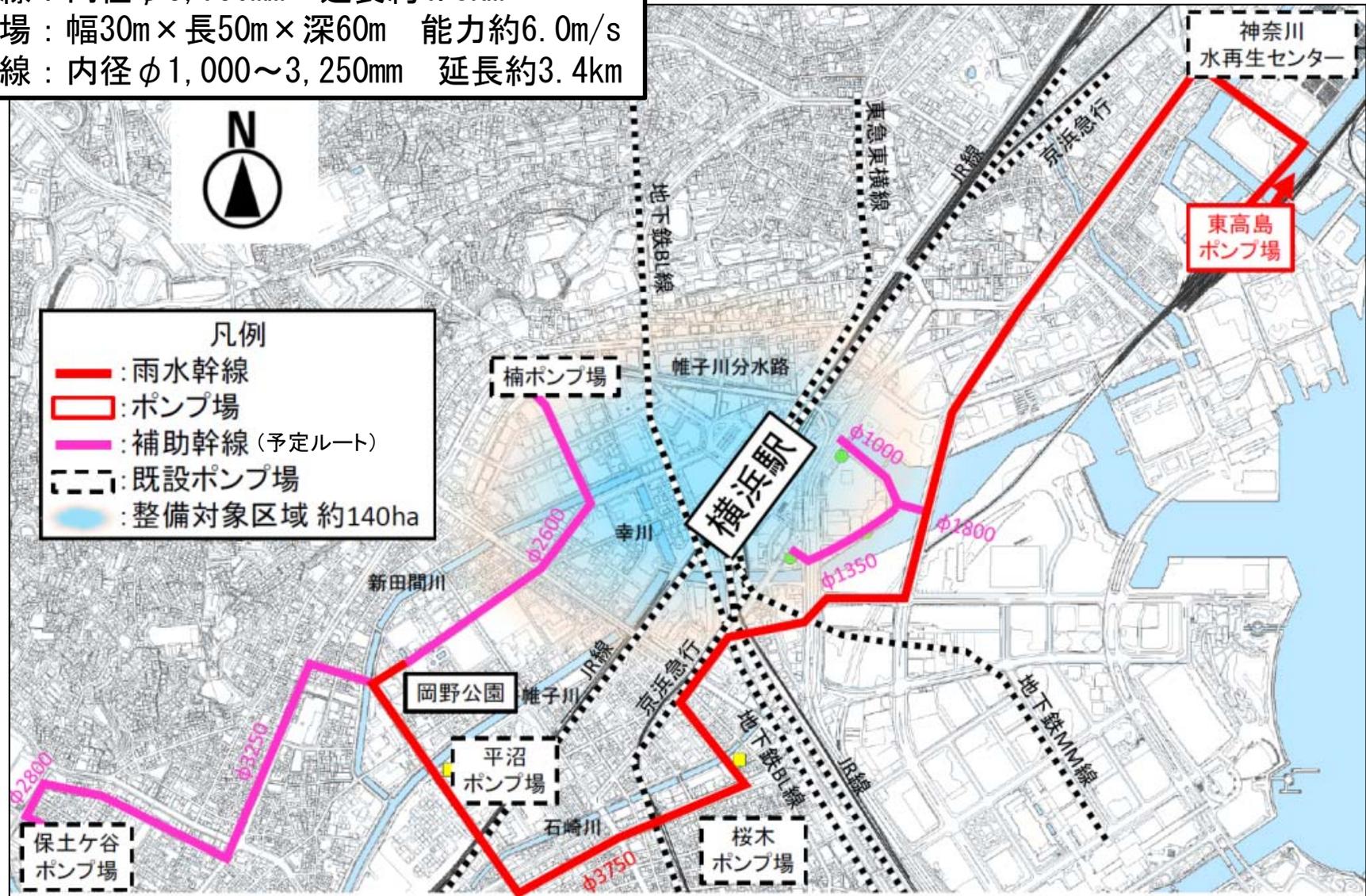
(仮称) 神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業

《施設諸元》

雨水幹線：内径φ3,750mm 延長約4.8km

ポンプ場：幅30m×長50m×深60m 能力約6.0m/s

補助幹線：内径φ1,000~3,250mm 延長約3.4km



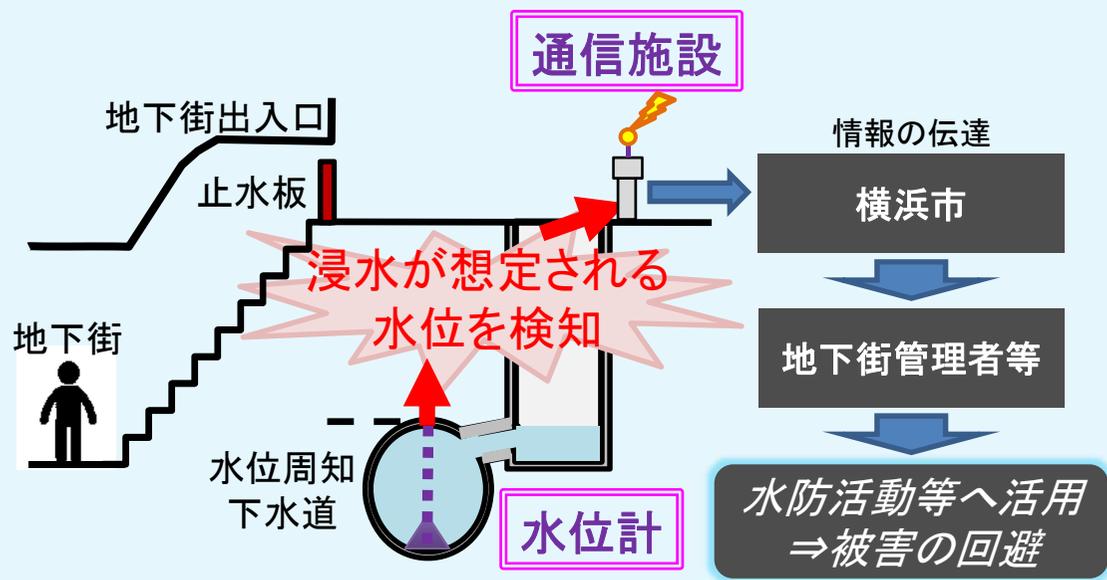
横浜駅周辺の下水道による浸水対策事業

水位周知下水道に関する取組み

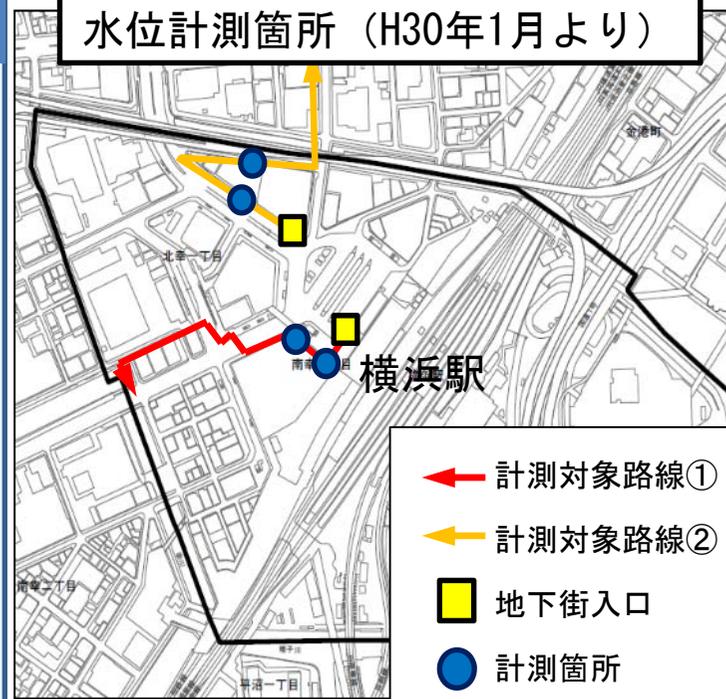
下水道から雨水が溢れる前に、ICTを活用して浸水に関する情報を提供する水位周知下水道について

水位周知による効果(集中豪雨～浸水発生前)

地下街利用者や事業者に下水道の水位情報を提供し、被害を回避



水位計測箇所 (H30年1月より)



- 平成30年1月、横浜駅西口に水位計を4箇所設置。水位計測を継続実施中。
- これまでの計測で、機器の安定性と通信の信頼性などを確認。
- 引き続き、効果的な周知方法や必要な対応策等、協議調整を進める。
- 令和2年度の情報提供開始に向け、大雨時の水位情報を正確かつ迅速に伝えるためのシステム構築を進める